

教科教育専攻

# 社会科教育専修

初等教育履修分野 / 中等教育履修分野

人間と社会のあり方を総合的に学ぶことを通して、  
 広い視野と深い洞察力を身につけた教員を育成します。

◆ 学びのポイント

## 1 社会認識力と実践的教育力を育成

社会科教員には社会についての幅広い認識と、それを児童・生徒に伝え、よりよい社会についてともに考えていく実践力が不可欠です。文献・各種資料(史料)、奈良県の豊かな自然と歴史環境を活かしたフィールドワーク、関連な議論を通して、理論と実践の両面から、社会認識力と実践的教育力を培います。



## 2 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭の免許取得が可能

小学校、中学校(社会)、高等学校(地理歴史・公民)の免許を取得することができます。  
 小学校教員でも高い専門性に裏付けられた教科指導力がつよみです。

## 3 少人数教育によるきめ細かな指導

ゼミでの学びと卒業論文研究では、少人数ならではの懇切な指導と深い学びが可能です。  
 ゼミでは専門分野の文献講読などを通じて、それぞれの分野の研究の成果と方法を学び、それを活かして自分の選んだテーマについて深く掘り下げ、卒業論文をまとめます。

◆ 学びの領域

## 社会を学び、社会を教えることを学ぶ

社会科を構成する広範な諸学問を通じて人間と社会について学び、その成果を次世代に伝えるための社会科教育学を学ぶことで、多領域にわたる社会科教育に対応できる教員としての資質を養います。



### 社会科教育専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限		フィールドワークで地域に学ぶ	教育社会学演習	教育実習事前指導	生涯教育文化特講
3・4時限		初等教科実践指導	校外学習指導特講	教育実習事前指導	西洋史
5・6時限	社会学研究				
7・8時限					生涯学習概論I
9・10時限				教育人材アプロー子特講	



#### 初等教科教育法(社会)

小学校社会科学習の目標・内容・方法のあらましとともに、身の回りの地域や生活の中から社会科の学習テーマや教材を発見する見方・考え方を取り上げます。



#### フィールドワークで地域に学ぶ

食と農、伝統音楽、野生動物、廃村、インバウンド観光、地域の教育力などのテーマを持ち、五感で地域に学ぶ教養科目です。



#### 地域生態論(後期開講)

人間の活動と自然環境との関わりを学び、持続可能な社会について考え、授業づくりにつなげます。写真は奈良市立小学校での授業実践です。

#### 主な開講科目

日本史概説I・II / 地理学概論 / 地誌学概論 / 社会学概論 / 政治学 / 経済学 / 西洋史 / 法学 / 社会科教育研究I~IV / 日本史研究I~IV / 西洋史研究I~IV / 地理学研究I~IV / 法学・政治学研究I~IV / 社会学・経済学研究I~IV / 哲学概論 / 倫理学概論 / 哲学・倫理学研究I~IV

#### 取得できる免許状

- ・[初等教育履修分野] 小学校教諭一種 等
  - ・[中等教育履修分野] 中学校教諭一種(社会) 等
- (P.67[取得できる免許状・資格]のページ参照)

#### 卒業後の主な進路

年度によって若干のばらつきがありますが、小・中・高の教員が70%、企業・公務員が20%、大学院進学が10%となっています。

#### 教員および専門分野(令和元年5月1日現在)

- ・根田 克彦教授 / 地誌学  
アメリカとイギリスの都市
- ・河本 大地准教授 / 地理学  
農山村地域研究(日本、スリランカなど)、観光、地域づくり
- ・今 正秀教授 / 日本史学  
平安時代政治史を中心とする古代・中世史
- ・西田 慎准教授 / 西洋史学  
ドイツ現代史(特に戦後史)、ドイツ政治史
- ・梶尾 悠史准教授 / 哲学・倫理学  
西洋哲学、特にE.フッサールの現象学
- ・佐野 誠教授 / 法学  
人権の起源、ユダヤ人問題、ヴェーバー研究
- ・森 伸宏教授 / 経済学  
金融論及び産業組織論
- ・渡邊 伸一教授 / 社会学  
社会問題の社会学的研究
- ・岩本 廣美教授 / 社会科教育学  
地理教育、環境教育、子どもの遊び
- ・森口 洋一特任講師 / 社会科教育学  
歴史教育研究、教材論

### Student's Voice 在学生の声

#### 「社会科を味わえる教員へ」

社会科教育専修4年生  
**山之内 健人さん**  
 (大阪府立 布施高等学校出身)



社会科教育専修では、社会を見る力や教え方を学ぶことができます。まず、歴史学や地理学、法学に経済学など、様々な学問分野に触れることで、社会を見る力が磨かれます。例えば、これまで疑問に思っていた社会的現象に対して「歴史学的に見れば…」[経済学的に考えれば…]と複数の視点から社会を見て、考える力が体得できます。次に、教育実習や教育方法の授業を通して、子どもに「深い学び」を獲得させるにはどのような教え方が適切かも学ぶこともできます。

このような大学での学びを通して、見る力や教え方が身につけば、今のあなたには想像もつかないほど、社会科を味わう「味覚」が広がると同時に研ぎ澄まされ、社会科をさらに好きになっているはずですよ。さあ、一緒に教師の高みを目指しましょう!